

在貨借すの國家理財上必要の融通して
之を備へしふらゆきありては、従きたるふいし
くも鬼角政府より政府に頼謀の懐りあり
見え今上風説すれば、東萊府に備えありま
米と府供と利に及ばず、風くを賣り掛ひい
近の米と京師の方と、食を食ありと雖も
素多也すも、物ありて、詞と後して之を延
たれありと多からざる、強ありて米と室より買米と

ありと強し、ある如ありあり、是ととも
實に否取百萬ありと、何れか、内情あり
れ、見え、此方より在、義中出、
深、之を述べ、日本米の来、上下も、
す、と述べ、信あり、其所需、高、
を、高、米と、策あり、此方より、
唯、米と、未考、れ、未、
お、之、
洞、
未、
唯、

唯、此、
現、
此、
州、
召、
七、
却、
す、
實、
今、

見、
萬、
但、
六、
高、

州商人の中こそ人當石留の後に残し、
召来使ありし所の朝解人より中へ、
七葉石留の買取ぬれ、
却吉より加確なる、
すしと云ふは誤し、
實り入りたる左の助力より、
千貫州商人より身元商人よりは、

見んと云ふは、又或人より、
萬石と買取りしより、
但し開店申す、
六圓半の積り、
高知より、
大倉より、
七圓正の世便、
お後おかり、

半皮とん何と、
月日費り、
價も、
多敷の、
り、
中へ、
し、
同右、
わ生、
大と、
花、

追白申す、
中へ、
引者、
お是、
況示、

